

1	審議会名	第2回上田市国民健康保険運営協議会
2	日時	平成31年1月17日(木) 午後1時15分から午後3時まで
3	会場	上田市役所6階大会議室
4	出席者	田畑裕康会長、越田明子副会長、古川悦子委員、尾澤圭子委員、大久保秀子委員、倉沢和成委員、宮下暢夫委員、合葉雅彦委員、千葉康浩委員、近藤久代委員、宮尾秀子委員、渋沢俊道委員、浅倉俊樹委員、宮岸喜恵子委員
5	市側出席者	土屋市長、近藤福祉部長、細川国保年金課長、浅野収納管理課長、室賀健康推進課長、下村丸子市民サービス課長、堀内真田市民サービス課長、佐藤武石市民サービス課長、春原国民健康保険担当係長、前沢国民健康保険担当係長、坂口国民健康保険担当係長、小出国民健康保険担当主事
6	公開・非公開等の別	公開 ・ <del>一部公開</del> ・ <del>非公開</del>
7	傍聴者	0名 記者 3名
8	会議録作成年月日	平成31年1月18日

## 協議事項等

1	開会(事務局)
2	あいさつ(市長)
3	諮問
4	会議録署名人の指名 ・田畑会長から、浅倉委員と宮岸委員の2名を会議録署名人に指名
5	議事 (1) 諮問内容の説明 事務局：資料により説明 (2) 質疑等 委員：被保険者数が減少しているとのことだが、その理由は？また、このような現状の中で事業費納付金はどうなっていくのか？ 事務局：被保険者数の減少は高齢化による後期高齢者医療保険制度へ移行する人が多いのが一番の要因。また、今後の事業費納付金については、制度2年目ということもあり読み切れない部分もあるので動向を注視していく。 委員：資産割減分の約4,600万円はどう割り振られているのか？また、市内約20,000世帯のうちどのくらいの人が減の影響を受けるのか？ 事務局：資産割の減については、税率を変動させながら、様々な税率のパターンを検討し改定税率を積算した。基本的には、所得割に転嫁しつつ、平等割、均等割にも一部転嫁している。また、減の影響が何世帯あるのかは、それぞれの世帯の状況による、例えば所得であったり、家族構成であったりにもよるので一概には言えない。 委員：全体改定率0%とはどういうことか？資産割の減はどういう層に影響があるのか？県が示す応能、応益割に近づけるようにするにはどうすればよいのか？ 事務局：全体改定率0%とは、所得や被保数等が同じとしてH30とH31の税率をかけてみて賦課総額がほぼ一緒になるということ。資産割の減は固定資産を有している世帯には影響があるが、平等割・均等割で増える部分もあるのでそれぞれの世帯により変わってくる。応能・応益割は徐々に県の基準に近づけていくよう、昨年答申をいただいているのでそれに沿って進めていく。
6	その他 (1) 今後の開催日程について 事務局：今後の開催日程について資料により説明
7	閉会(事務局)